

東日本大震災

名古屋って、あったかくて
いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

平成30年3月1日発行 (第92号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月1日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日 9～17時)
FAX：052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



日本が13個のメダルを獲得した平壤オリンピックが終わりました。今までの努力が報われ喜び選手や涙を飲んだ多くの選手の姿をテレビで見て、一喜一憂するのも終わりかと思うとちょっと寂しい気もします。パラリンピックが間もなく開幕！そして、次のオリンピックは、いよいよ東京ですね(遠い昔、名古屋もオリンピックに立候補したことがあったなあと思いを馳せつつ...)。盛り上げて行きましょう！！



桃の節句～ひなまつり～



3月3日は、桃の節句。ひなまつりですね。女の子の健やかな成長をお祝いするためのもので、ひな人形や桃の花を飾り、菱餅やあらねなどを供えてお祝いします。

元々は中国の五節句の1つで、川辺で身を清め災いを払う行事とされていました。一方、日本では、平安時代から行われていた「雑あそび(ひいなあそび)」と貴族が桃の節句に行われていた「流し雛」が結びついてひな人形を飾る慣習ができたと言われています。



ひな祭りの料理は、ちらし寿司とハマグリのお吸い物などが作られることが多いですが、ちらし寿司の具は、レンコンは見通しがきく、エビは長生きするなど言われ、縁起の良い食材を多く、また見た目も華やかで、春を感じますね。

ひな人形に関するイベントは、豊田市足助地区で「中馬のおひなさん in 足助」や瀬戸市の「瀬戸のお雛めぐり」など色々ありますが、名古屋市でも、名古屋城や徳川美術館などで行われる文化のみちのイベントを巡るスタンプラリーが行われるようです。

文化のみち 雛(ひな)巡り <http://www.city.nagoya.jp/shicho/page/0000102187.html>

まだ寒い日もありますが、だんだん寒さが緩み春めいてくると、外出が楽しい季節になりますね。今年の春は、ひな祭りイベントを楽しんではどうでしょう？



「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:平成30年3月6日・20日

4月10日・17日

全て火曜日 10時15分～12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階

録音編集室

(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ

材料費:1回500円～(実費相当)



寺子屋 NIT!

名工大の現役大学生による学習支援

日時:平成30年3月16日(金)・

4月27日(金)

17時30分～(1時間半程度)

正門前集合

会場:名古屋工業大学

(昭和区御器所町、最寄り駅:鶴舞)

内容:学校の宿題やドリル、テスト範囲の

勉強など、筆記用具は

各自準備

いずれも、被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

メールアドレスをお知らせください

年末、QUO カードを送付した時に、併せてアンケートを実施しました。ご協力いただいた方、どうもありがとうございました。

その時に、メールアドレスをお知らせいただくようお願いしましたが、招待事業などの情報を希望される方は、メールで個別にご案内しますので、ぜひ上記アドレスあてお知らせください。



3月31日(土)第52回お茶っこサロンなごや@中区



～今年のお花見は晴れますように!!～

原稿を書いている今、外は冷たい風が吹き、北の地方の大雪災害が報じられています。大雪という自然災害の存在をあらためて気づかされます。3月に入り、彼岸頃には春の暖かさが訪れるのを待ち望んでいます。

さて、彼岸には先祖のお墓参りが慣習です。遠く故郷を離れている私には、お墓参りは叶いません。せめて、両親の事を思い出し、感謝の気持ちを捧げるのみです。

私の母の思い出のひとつです。

私は大学生時代親元を離れ、寮生活でした。心配な母は毎月手紙を書くように頼みました。携帯電話はなく、固定電話の遠距離通話は高くて緊急でない限り使えません。毎月手紙を書きました。時々、母から郷土のお菓子や果物が送られてきました。そして、その中に、私の手紙が入っていました。その手紙は、誤字脱字が訂正されていました。そんなことが何回か続き、未熟で生意気だった私は、母の行為にクレームをつけました。『せっかく手紙を書いてやっているのに、いちいち直されたら気分が悪い』と。間もなく母から手紙が届きました。

自分のミスを指摘されるとなかなか素直に受け止められず、いやな思いをするかもしれませんが、これは私の経験からあなたのためにやっています。私が師範学校を卒業して小学校の教師になった時、教頭先生が指導担当で、日報の提出を求められました。戻された日報は、内容はもちろん、誤字脱字があると必ず訂正してありました。それを見て、自分の未熟さに気づき、教師として恥ずかしい文章を書こうと思ったそうです。

また、母のことを思い出しました。この原稿に誤字脱字がないことを願うばかりです。

今期最後の『お茶っこサロンなごや』は、東別院さんのお部屋とお庭をお借りして行います。昨年からの活動している「革工芸の会」の方の指導で、簡単な小物づくりを体験していただきます。その後、庭の桜の木の下で食事をしましょう。

一番気になるのはお天気です。今まで行った『お茶っこサロンなごや』の花見は、全て雨に見舞われています。今度こそは、仏様、親鸞聖人さんに頼んで晴れにしてもらいましょう。



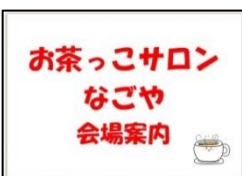
(お茶っこサロンボランティアO)

【日時】平成30年3月31日(土) 10:30～12:30 (受付:10:00頃～)

【会場】東別院 (真宗大谷派 名古屋別院)
対面所 (中区橋二丁目 8-55)

【アクセス】地下鉄名城線「東別院」駅下車
4番出口から西に徒歩3分
※ 駐車場はありますが、限りがあるので、ご注意ください。

【申込】参加希望の方は、3月23日(金)までにセンターまでお申込みください。



←地下鉄東別院駅改札口付近で、スタッフが看板を持って、駅から道案内しています♪

場所がわからない場合はお電話ください。(電話:070-5587-7153 当日9:00頃～)

